

おうえめ 市議会だより

No. 266
令和6年(2024年)2月15日
発行/青梅市議会
電話番号/0428-22-1111(代)

主な内容

- 12月定例会のあらまし.....1
- 市長提出議案の主な内容、議会日誌.....1
- 一般質問.....2~5
- 審議された議案および陳情の議決結果.....6
- 議員提出議案、特別委員会から.....6
- 全員協議会から、災害対応訓練、普通救命講習.....6
- 令和6年2月定例会会議予定.....6

令和5年青梅市議会定例会 12月定例議会

大勢待市長所信表明演説

「青梅市に住んでいて本当に良かった」と思えるようなまちづくりを推進し、「誰もが憧れるまち 青梅」を目指す



梅の公園

令和5年12月定例議会は、12月7日から27日までの21日間の期間で行われました。
本会議初日には、令和5年11月30日に新たに市長に就任した大勢待市長が、これからの市政運営について所信を表明しました。
一般質問は、12月21日、22日および25日の3日間にわたって行われ、21人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(2~5面に要旨を掲載)。
12月定例議会上程された市長提出議案は、補正予算5件、条例10件、契約1件、財産1件、人事1件、その他13件の全31件、議員提出議案が1件でいずれも原案どおり可決または同意されました。
また、陳情2件が審議され、趣旨採択1件、不採択1件となりました(6面に掲載)。

市長提出議案の主な内容

■令和5年度青梅市一般会計補正予算(第6・7号)
歳入歳出予算にそれぞれ18億2495万9千円を追加し、その総額を618億2835万8千円とする。

【主なもの】

- ▽自立支援給付経費の増
- ▽子ども食堂推進事業補助金の増
- ▽電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金の増(住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり7万円を支給)
- ▽物価高騰支援給付金等の増(介護・障害福祉サービス事業所、子ども食堂、乳児院、児童養護施設、民間学童保育所、幼児教育・保育施設、医療機関等に対し給付金を支給)
- ▽学校給食費の減(学校給食費を2か月分全額免除)

■青梅市市税条例の一部を改正する条例(施行日令和6年4月1日)
令和5年度までとされている都市計画税の税率に関する特例措置について、その適用期間を延長する。

■青梅市印鑑条例の一部を改正する条例(施行日令和6年1月1日)
市民サービスの更なる向上を図るため、窓口における印鑑登録証明書の交付申請の際、個人番号カードを提示して自ら申請する場合は、印鑑登録の提示を不要とする。

■青梅市事務手数料条例の一部を改正する条例(施行日令和6年3月1日)
地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正にもとづき、事務手数料を徴収する事項に、戸籍法の一部を改正する法律の施行により開始する事務を加える。

【事務手数料を徴収する事項に追加するもの】

徴収する事項	金額	徴収時期
戸籍証明書の広域交付	450円	交付時
戸籍電子証明書提供用識別符号の発行	400円	交付時
除籍証明書の広域交付	750円	交付時
除籍電子証明書提供用識別符号の発行	700円	交付時
届書等情報内容証明書の交付	350円	交付時
届書等情報内容証明書の閲覧	350円	閲覧後

■物品の買入れについて

消防自動車8台
【契約の方法】
指名競争入札
【契約金額】
1億1489万5千円
【契約の相手方】
日本機械工業株式会社
本社営業部

■指定管理者の指定について(可決された市内各施設の指定管理者)

施設名	指定管理者	指定期間
青梅市学童保育所(第一・三・五・六、今井、藤橋、吹上)	株式会社こどもの森	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市学童保育所(第二・四・七、成木、友田)	社会福祉法人青梅市社会福祉協議会	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市学童保育所(河辺、霞台、若草)	知創株式会社	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市学童保育所(新町)	株式会社モアスマイルプロジェクト	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市自立センター	社会福祉法人青梅市社会福祉事業団	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市民斎場 青梅市火葬場	富士建物管理・富士建設工業共同体【構成団体】 富士建物管理株式会社、富士建設工業株式会社	令和6年4月1日~令和11年3月31日
青梅市総合体育館、永山公園総合運動場、東原公園水泳場、わかぐさ公園子どもプール、沢井市民センタープール、市民球技場、わかぐさ公園野球場、ちがむら球技場、東原公園球技場、友田レクリエーション広場、青梅スタジアム	青梅市スポーツ施設運営パートナーズ【構成団体】 株式会社フクシ・エンタープライズ、株式会社NTTファシリティーズ	令和6年4月1日~令和11年3月31日

議会日誌

12月定例議会

- 11月
22日 議会運営委員会
青梅市議会災害対応訓練
- 12月
1日 議会運営委員会
- 7日 本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、市長所信表明演説、議案審議、陳情審議)
- 11日 議会運営委員会
- 12日 総務企画委員会
環境建設委員会
福祉文教委員会
- 13日 文化複合施設整備特別委員会
- 14日 予算決算委員会
全員協議会
- 15日 議員研修会(普通救命講習会)
- 21日 本会議(一般質問)
- 22日 本会議(一般質問)
- 25日 議会運営委員会
本会議(一般質問、諸報告、議案審議)
- 26日 総務企画委員会
環境建設委員会
福祉文教委員会
- 27日 議会運営委員会
本会議(委員会議案審査報告、委員会陳情審査報告、閉議)
- 予算決算委員会

不登校児童・生徒の支援について問う

長谷川 真弓 議員 (公明)



議員 ①学びの場の確保、相談窓口の現状と課題について...

②学びの多様な学校について、どのように取り組むのか。③相談窓口の拡充、保護者への情報提供を強化する必要がある...

乳幼児健診の拡充について問う

議員 ①市の3回の乳幼児健診の受診率および内容を問う。

②新生児訪問事業の状況および1か月健診実施について市の考えを問う。③発達障害の子どもの早期発見に向けた5歳児健診の実施について、市の考えを問う。

市長 ①11月末現在の受診率および内容は、3〜4か月健診は97.3%で、発育・発達確認、予防接種や離乳の開始に向けての指導を、1歳6か月健診は、

94.0%で、発達の状況、異常の有無の診察による障害の早期発見や歯科健診を、3歳児健診は、90.0%で、総合的な健診、保護者への支援を行っている。

②本年3月より、すべての新生児を対象とし、保健師などが訪問して、発育・栄養・生活環境・疾病等の相談・指導を行い、必要に応じ、産後ケア事業の案内もしている。1か月健診は、任意で自費負担のため、経済的な負担の軽減が必要である。今後、検討していく。



コミュニティバス導入の真剣な検討を新市長に問う

井上 たかし 議員 (共産)



議員 ①公共交通の充実について、市長の基本的な考えを問う。②グリーンスローモビリティの実証運行の継続、他の地域での具体化について問う。

③新たな公共交通の導入には、公共施設の利用促進等の視点も必要であると考えがどうか。④交通事業者の実情は、協定の締結等を検討すべきでは。

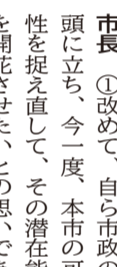
市長 ①交通事業者と連携し、新たな公共交通の導入を進め、市民の移動手段確保に取り組む。②来年度の実証運行、その後の本格運行に向け、適切な運行ルートや運賃等を検討する。地域ごとの課題等を踏まえ、既存の公共交通と新たな移動手段の最適な組み合わせを構築していく。

③公共施設へのアクセスが容易になることで、利便性が向上し、利用促進が図られると考える。④運転手確保の課題に取り組

公共施設「削減ありき」の計画は見直しを

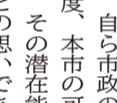
議員 ①公共施設等総合管理計画の見直しの予定、国の指針で求められている内容を問う。

②計画の進捗状況について問う。③「再編モデルA」の文化交流センターの現在の床面積は。④計画の取組の評価を問う。⑤床面積削減の数値目標を掲げることを見直す必要があるか。⑥今後、多角的な観点をどのように反映させていくのか問う。



市長選を終えて市長の考えを問う

寺島 和成 議員 (自民)



議員 ①立候補会見での「議員を12年務めて限界を感じた」という発言および立候補の真意は、何がどう変わるのか問う。②市長が考える4年後の青梅市の姿は。

市長 ①改めて、自ら市政の先頭に立ち、今一度、本市の可能性を捉え直して、その潜在能力を開花させたいと思っている。②新市長となり、青梅が変わるという機運の高まりを受け、オール青梅で取り組んでいく。③学校給食費の無償化、移住者の増、新市民ホールの建設の実現、公共交通の問題を重点的に取り組む。

市長 ①宣言では、青梅の魅力ある地域資源を未来へ引き継いでいくこと、市民、事業者、行政の一体となった取組を通じて実現を目指すとしており、ぶれ

ることなく取り組んでいく。②安定的な資源化設備が整い、新たな処理、収集の体制について見直しを検討していく。雑がみの回収量の増加やエコバッグ配布時に行ったアンケートから市民の意識の変化に効果があったと捉えている。今後、継続や新たな取組を検討していく。

市が目指すシティプロモーション施策について問う

議員 ①シティプロモーションへの認識、推進姿勢を問う。

②Ome Blueの今後の活用や展開について問う。観光分野におけるDX推進、観光動画の活用、また、公共交通対策と観光客の移動ニーズに対する今後の取組について問う。③シティプロモーションに対する市長の意気込みを問う。

市長 ①地域への関係意欲を高める取組であると捉えている。②新市長となり、青梅が変わるという機運の高まりを受け、オール青梅で取り組んでいく。③学校給食費の無償化、移住者の増、新市民ホールの建設の実現、公共交通の問題を重点的に取り組む。

市長 ①地域への関係意欲を高める取組であると捉えている。②新市長となり、青梅が変わるという機運の高まりを受け、オール青梅で取り組んでいく。③学校給食費の無償化、移住者の増、新市民ホールの建設の実現、公共交通の問題を重点的に取り組む。

市長 ①宣言では、青梅の魅力ある地域資源を未来へ引き継いでいくこと、市民、事業者、行政の一体となった取組を通じて実現を目指すとしており、ぶれ

ることなく取り組んでいく。②安定的な資源化設備が整い、新たな処理、収集の体制について見直しを検討していく。雑がみの回収量の増加やエコバッグ配布時に行ったアンケートから市民の意識の変化に効果があったと捉えている。今後、継続や新たな取組を検討していく。

山林開発を伴うメガソーラー発電事業について

迫田 晃樹 議員 (自民)



議員 ①今井一丁目のメガソーラー計画について問う。大規模な山林開発を伴う事業について市長の認識は。

②飯能市阿須山中地区の開発事業に関する同市からの情報提供、本市への影響、飯能市に対する意見等の表明は。③大規模な山林開発における隣接自治体との取り決めについて問う。また、害獣の捕獲等における隣接自治体間連携は。④環境基本条例にもつき環境への配慮に必要な事項を定める規則が存在しないが、市長の見解は。制定する場合の期限は。

市長 ①電気事業者がメガソーラーを設置する計画として国の認定を受けていたものであり、認定の失効制度により、計画は消滅したものと捉えている。環境に影響を及ぼす事業は、環境基本計画の森林保全や総合長期計画、都市計画マスタープラン等に整合しないものと考えられる。②飯能市から当該計画、環境への影響評価等の情報提供はなかった。本市では、情報を持ち合わせていないため、影響について判断できない。意見、要望等を表明したことはない。

市長 ①宣言では、青梅の魅力ある地域資源を未来へ引き継いでいくこと、市民、事業者、行政の一体となった取組を通じて実現を目指すとしており、ぶれ

ることなく取り組んでいく。②安定的な資源化設備が整い、新たな処理、収集の体制について見直しを検討していく。雑がみの回収量の増加やエコバッグ配布時に行ったアンケートから市民の意識の変化に効果があったと捉えている。今後、継続や新たな取組を検討していく。

アユ釣り振興策に関する取組について問う

茂木 亮輔 議員 (維新)



議員 ①アユ釣り客の減少やアユの状況についての認識を問う。②市内における内水面事業の主体である奥多摩漁業協同組合との連携強化について問う。③アユの天然遡上を促進するため、東京都水道局に対し、ダム放流のタイミングの調整について掛け合っているかどうか。④市内における多摩川付近での駐車場の確保を行うべきであると思うが、見解は。

市長 ①平成30年との比較で、令和4年のアユ遊漁券の年券枚数は約6割減、令和5年の多摩川へのアユ遡上数は約8割減となっており、アユ釣り客とアユの数の減少は認識している。②東京都では、多摩地区の釣り場の整備と特産品の開発、生産・販売体制の確立などを旨とし、内水面漁業振興対策事業を行っており、都が4分の3、市区町村が8分の1を補助している。市では、補助金申請手続などの事務的な点を含めて支援を行ってきた。今後、連携を強化し、内水面漁業振興を図っていく。

市長 ①宣言では、青梅の魅力ある地域資源を未来へ引き継いでいくこと、市民、事業者、行政の一体となった取組を通じて実現を目指すとしており、ぶれ

ることなく取り組んでいく。②安定的な資源化設備が整い、新たな処理、収集の体制について見直しを検討していく。雑がみの回収量の増加やエコバッグ配布時に行ったアンケートから市民の意識の変化に効果があったと捉えている。今後、継続や新たな取組を検討していく。

ることなく取り組んでいく。②安定的な資源化設備が整い、新たな処理、収集の体制について見直しを検討していく。雑がみの回収量の増加やエコバッグ配布時に行ったアンケートから市民の意識の変化に効果があったと捉えている。今後、継続や新たな取組を検討していく。

所信表明について問う

阿部 悦博 議員 (自民)



議員 ①学校給食費無償化の財源の根拠、実施期間、対象および理由について問う。②国や東京都の見解をどう捉えているか。③市長会や西多摩地域広域行政圏の一員としての見解を問う。④市長の交通政策は、市のこれまでのコミュニティバスの考え方を含めて、地域公共交通計画の方向性と相違があるか。⑤グリーンスローモビリティについて、市長の見解を問う。⑥来年度の重要施策にすべきと思うが、考えは。

市長 ①都の動向を勘案して検討し、早期の実施に向けて取り組む。青梅市の歴史、文化等を引き継いでいく次世代を育てるため、子育て世帯を支援したい。②国では、実態調査を行い、具体的方策を検討、東京都の支援制度内容は未定であり、動向を注視していく。③市長会等を通じて要望していくことは必要であると考えが、政策は、各自自治体で立案・実行していくべきものと捉えている。④コミュニティバスではなく、地域特性に柔軟に対応できる新たな移動手段の導入を検討するという方向性と相違はない。⑤実証運行の利用状況から、一定の需要があるものと捉えている。適切な運行ルートや運賃等を検討していきたい。

市長 ①宣言では、青梅の魅力ある地域資源を未来へ引き継いでいくこと、市民、事業者、行政の一体となった取組を通じて実現を目指すとしており、ぶれ

ることなく取り組んでいく。②安定的な資源化設備が整い、新たな処理、収集の体制について見直しを検討していく。雑がみの回収量の増加やエコバッグ配布時に行ったアンケートから市民の意識の変化に効果があったと捉えている。今後、継続や新たな取組を検討していく。

ることなく取り組んでいく。②安定的な資源化設備が整い、新たな処理、収集の体制について見直しを検討していく。雑がみの回収量の増加やエコバッグ配布時に行ったアンケートから市民の意識の変化に効果があったと捉えている。今後、継続や新たな取組を検討していく。

所信表明を受けて
今後のBOAT RACE
多摩川の売上げについて



山田 敏夫議員
(自民)



議員 ①ボートレース全体およびボートレース多摩川の本市の売上状況について伺う。青梅市開催の高グレード競走の売上げと総売上げに占める割合は。

②売上げ確保のためのトップセールスの考えについて伺う。
③現時点におけるモーターボート競走事業からの繰入金金の具体的な活用方法について伺う。用途廃止となった施設の解体に繰入金を活用できないか。

市長 ①令和4年度の全体売上げは、2兆4千億円を記録し、2年連続で過去最高を更新している。ボートレース多摩川の本市の売上げは、712億円となり、堅調に推移している。令和4年度開催の「プレミアムG I ヤングダービー競走」の売上げは76億円余で、総売上の10.7%を占めている。

②私自ら、積極的に関係団体との意見交換を行い、ボートレース多摩川をアピールすることで、高グレード競走の誘致に努めるとともに、事業の発展、売上げの維持・向上を図るため、事業管理者と連携し取り組んでいく。
③令和4年度は公園遊具の整備や消防自動車購入、小・中学校の改修等に活用した。施設の解体事業への活用も可能と考える。

優良田園住宅制度について問う
議員 ①優良田園住宅制度の概要とこれまでの取組状況を伺う。
②本制度の導入について伺う。
③東京都へは何度出向いたか。
市長 ①「優良田園住宅の建設

の促進に関する法律」に基づき、都市の近郊地域などの敷地面積300㎡以上等、一定の基準を満たした優良な住宅の建設の許可を可能とする制度である。市街地調整区域における住宅の建築等の許可が可能となることや、農業振興地域農用地区域からの除外、農地転用の許可等について配慮される。青梅市移住・定住促進プランに位置づけ、検討を進めている。関係法令上の権限を有する東京都と協議し、課題を共有して助言を受けている。

②まちづくりの在り方など様々な視点から検討を重ね、移住支援金の加算措置の活用実績なども踏まえて、慎重に進めていく必要があると理解している。
③2回である。

公共工事における最低制限価格と前払金の限度額見直しについて問う
議員 ①最低制限価格制度について伺う。市の現状は。

②国基準に合せ見直すべきでは。
③前払金制度の内容を伺う。
④前払金の上限金額を見直すべきであると考えが、見解は。

市長 ①ダンピング防止等のため、落札の最低価格を事前に設定する。国基準の改定の都度、見直しの要請が出る。本市の基準は、平成28年のモデルである。平成29年の改定後、失格となる事業者が増えたため、他市の状況等を参考に検討、平成28年の国基準に戻した。現在見直しの予定はないが、引き続き検証し、適正な入札の実施に努める。
③公共工事の事業者負担を軽減するため、着手時点で工事費の一定額を支払うことができる。

④中間前払金制度等により負担軽減も図っている。見直しの予定はないが、今後の工事価格の見込みや周辺自治体の状況等を引き続き調査・研究し、公共工事の円滑な施工確保に取り組む。

釜淵公園の桜を活用した観光振興について問う
議員 ①桜の時期の来訪者数、これまでの施策について伺う。
②令和6年のライトアップの実施予定と取組状況について伺う。集客のため、キッチンカーの出店等、イベントの魅力向上を図るべきと考えるが、どうか。

③釜淵公園水泳場跡地周辺等の現在の状況と今後の活用について伺う。イベントを広域の観光コンテンツとして拡充していくべきと考えるが、見解は。

市長 ①平成29年の調査では、3月は3660人、4月は4696人である。動画の公開や見所の紹介、ライトアップイベントなどに取り組んだ。
②詳細は未定だが、東京観光財団の助成金を得るため観光協会が先行して手続を行っている。イベントの魅力向上には、内容の充実に取り組みむことが必要であると理解しており、実行委員会で具体的な方法を協議する。

③現在、サウンディング型市場調査を実施しており、河川敷を含めた一体的な活用策を次年度以降決定する。イベント等の拡充については、まず令和6年に効果的な情報発信と地域経済への波及効果を狙った試行的な取組の実施に注力し、関係者とともにイベント全体がレベルアップできるように取り組んでいく。

農産物のブランド化について問う
議員 ①国内・都内のブルーベリーの生産地、自治体PRへの活用状況、市内の生産地区は。
②農産物の活用や周知の方法は。
③農産物のブランド化を支援し

ていくべきと考えるが、見解は。
市長 ①収穫量1位は、国内が東京都、都内が青梅市である。産地の自治体では、ホームページで紹介するなど、魅力発信に活用している。市内の主な生産地区は、新町や藤橋等である。

②直売会や、学校給食での提供など、活用、周知に努めている。
③新規就農者や農産物の高付加価値化に取り組む農業者への各種補助や農地の確保等の支援を行っている。「6次産業化」の支援も含め、今後も農業者やJA西東京、都と連携し、ブルーベリーを含めた青梅市の魅力ある農産物の高付加価値化・ブランド化に取り組む。

所信表明演説の市政運営の基本方針について
新市民ホール建設や子ども高齢者居場所づくり、市民との懇話会等は市民参加促進を、

藤野 ひろえ議員
(共産)
議員 ①公約実現に取り組む決意について伺う。
②新市民ホール建設に当たっては、ワークショップの継続的な開催が必要であるが、見解は。

③子ども居場所を市内全域に確保し、国の児童館ガイドラインも参考に整備してはどうか。
④高齢者の居場所づくりについて現状は。旧沢井保健福祉センターを活用してはどうか。
⑤市民と市長との懇話会の今後の対応について伺う。

市長 ①様々な政策に取り組む、国内外の誰もが憧れるようなまちづくりに挑戦していく。
③子ども居場所については、確保していると捉えている。国の動向を注視し、子ども施策を進めていく。
④地域サロンを増やしていく。旧沢井保健福祉センターを活用

することは考えていない。
⑤誰でも気軽に参加し、意見や要望を言えるよう開催していく。
教育長 ②定期的に実施する。

子育て、教育費負担の軽減について問う
「学校給食費の無償化と、修学旅行や通学費補助等の拡充を」
議員 ①子育て支援策の現状認識と負担軽減策について伺う。
②共産党青梅市議団が提出した新年度予算編成に当たっての重点要望をどう受け止めているか。

③1月から3月までの給食費を無償にすべきでは。一層の地場産活用について、見解は。
④修学旅行費、自転車通学における自転車購入費および小規模特別認定校への通学費にかかる負担軽減を求めるが、見解は。

市長 ①可能な限り財源を確保し、実施している。本市独自の子育て支援策に取り組む。
②学校給食費の無償化については公約に掲げた重要政策であり、私の考えと重なる項目である。
③学校給食費無償化以外の補助等については、個々に精査し、判断していく。

教育長 ③国の交付金が予定されており、2月、3月分の免除を準備している。地場産については、今以上の活用は難しい。
④これまでも一定の補助は行うことができている。今後の対応策については、市長部局とも協議していく。

LGBTQについて問う
「パートナーシップ宣言制度など」
片谷 洋夫議員
(フォーラム)
議員 ①市でもパートナーシップ宣言制度を導入してはどうか。

②市職員のパートナーが同性だった場合、男女間の婚姻と同様に福利厚生を受けられるか。
③理解促進の施策を今まで以上に挙げていく。

市長 ①すでに開始している利便性の高い東京都の宣誓制度の中で取り組んでいく。
②本市において職員に対する制度は導入していない。
③満足感、安心感を得て、生きがいのある充実した生活ができる平等な社会の実現を目指している。

市で充電式電池の回収を
議員 ①本市の充電式電池の廃棄方法について伺う。
②近隣自治体の回収状況は。市が回収した場合のコストは。

③市で回収を行ってはどうか。
市長 ①現在、市では回収していない。市民には、一般社団法人JBR C協力店での無料回収または、処分業者での有料回収を案内している。
②都内29市町村のうち、26自治体で回収を行っている。収集運搬費に新たな費用はかからない。処分費については、年間約250万円が新たに生じる。

所信表明について問う
「職員体制、不登校への対策、デマンド交通など」
議員 ①専門性を持った職員の育成や配置について伺う。
②人口減少、少子化対策への考えを伺う。
③通信教育やフリースクール、オンライン教育など、新たな学び方への今後の具体的な取組は。

④不登校を支援するフリースクールに補助を行うってはどうか。
⑤デマンドタクシー事業の内容、スケジュール、国等の補助金は。
市長 ①職員が個々に有する資格、知識や経験、職員の特性や希望などを総合的に勘案して配

置を行うことにより、専門性を有した職員を育成していく。
②妊娠・出産から子育てまで、行政のみならず、地域全体で応援し、支え合っていくまちづくりに取り組んでいく。

⑤高齢者等の交通弱者を対象に、マイナンバーカードで登録した方がタクシーを利用する際、乗車人数に応じて運賃の一部を市が支援するマイタク事業の検討を進めている。今後、公共交通協議会での協議などを経て、令和6年度に実証実験を行い、令和7年度の本格導入を目指す。デジタル田園都市国家構想交付金の活用を検討している。

教育長 ③ICTを活用した不登校支援策について、今後、具体的な協議を始める予定である。新たな学び方の選択肢を広げることについては、先進市も参考にしながら取り組んでいく。
④他自治体の事例も参考にしながら検討していく。

※他の質問：「会計年度任用職員の処遇改善について問う」
認知症の相談体制や予防の取組などについて問う
みねざき 拓実議員
(共産)
議員 ①市における相談体制と強化、周知、啓発について伺う。
②認知症基本法成立に伴う検討認知症に関する問題意識は。

③予防の重要性は。軽度の認知障害(MCI)検査を特定健診に入れることについての考えは。
④補聴器の助成制度の他市の状況は。市でも導入すべきでは。
市長 ①地域包括支援センターの総合相談の中で実施している。認知症支援コーディネーターを配置する等、強化している。広

報や高齢者の暮らしの手引き等で周知、認知症サポーター養成講座等を実施し、啓発している。
②認知症施策推進計画の策定を進めている。認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりが重要である。
③予防への取組により、高齢になっても生きがいを持って日常生活を送れるものと考え。国の基準外であり、実施方法、検査後のフォローなど課題も多い。
④26市中5市で実施している。地域共生社会推進会議での指摘を踏まえ、検討している。

市民の楽しみ場について
「市民センターやスポーツ施設の整備・充実を」
議員 ①市民センターの老朽化対策について伺う。
②市民センターの充実についての考えを伺う。
③スポーツ施設の老朽化対策は。

④エクストリームスポーツのようにならなかつたスポーツ施設の建設について考えを伺う。
⑤スポーツ施設の充実についての考えを伺う。

市長 ①公共施設等総合管理計画に基づき、現状の施設の保全を図りつつ、維持していく。
②市長自ら明星大学青梅キャンパス跡地の購入について、お断りすべきと思うが、考えを伺う。

市長 ①公共施設等総合管理計画に基づき、現状の施設の保全を図りつつ、維持していく。
②地域住民が気軽に集って活動し、子どもから高齢者までが楽しめる場所にしていきたい。
③青梅市スポーツ施設ストック適正化計画などの整合性を図り、適切な対応に努めていく。
④場所の選定や施設の管理方法等、課題を整理する必要がある。
⑤充実を図られているものと捉えている。

⑥私自身が直接、明星学苑を訪問し、様々な可能性や各施策との関連性なども考慮して考えをお伝えしたい。

お伝えしたい。

審議された議案および陳情の議決結果

◆賛否が分かれた議案および陳情◆

Table with columns for district, proposal number, name, result, and 24 council members' votes (賛成/反対).

◆全会一致で可決または同意された議案◆

Table listing proposals that were passed unanimously, including budget items and administrative matters.

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属6人、自民党5人)、公明…公明党(5人)、市フ…市民フォーラム青梅・都民ファーストの会(無所属1人、都民ファーストの会2人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、立憲…立憲民主党(1人)、維新…日本維新の会(1人)]

◆新病院本館の開院について ◆西館改修工事について

総合病院建設特別委員会

◆東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画策定支援業務について ◆文化複合施設ワークショップについて ◆既存施設移転・解体スケジュールについて

文化複合施設整備特別委員会

特別委員会から

文化複合施設整備特別委員会 東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画策定支援業務について

特別委員会から 文化複合施設整備特別委員会 東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画策定支援業務について

議員提出議案 ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

イスラム組織ハマスによる攻撃を機に、パレスチナ自治区ガザ地区におけるイスラエルとの武力紛争が生じてから既に2か月以上が経過し、この紛争により一般市民、特に女性や子どもに多くの犠牲が生じている。国連総会は12月12日に緊急特別会合を開き、ガザ地区の状況に深刻な懸念を表明した上で、イスラエルとハマスの双方に対し、人道目的の即時停戦を求める決議案を採択した。

◆令和5年青梅市議会定例会令和6年2月定例会会議予定◆ Table with columns for date, time, meeting name, and notes.



全員協議会から 12月14日に開催された全員協議会での提出事項は次のとおりです。 【市長提出事項】 「青梅市地域福祉総合計画」の策定について

令和6年能登半島地震 義援金の送金について 令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。被災された皆様は心からお見舞い申し上げます。青梅市議会は、令和6年1月19日に令和6年能登半島地震の被災者支援のために、義援金として市議会議員1人1万円(議長は2万円)、計25万円を石川県災害義援金口座に送金いたしました。被災地の早期の復興をお祈り申し上げます。

